

# YcY LETTER

## わいわい通信 No. 13

R3/10/14

高等部福祉総合科の3年生の授業で、「八幡市ろうあ協会」「男山手話サークル」から講師をお招きし、聴覚障害のある方の生活を助ける物や手話について教えていただきました。

手話を  
教えてもらいました

「聞こえない」ことで生じる生活の中の不便さを助けてくれる物を教えていただき、体験させていただきました。

下の写真は、まくらの下に入れて、振動で起床時間を知らせてくれる物です。

後半はグループに分かれて、自分の名前を表す手話や、あいさつ、よく使う言葉の手話を教えていただきました。講師の方々は、口元の動きがわかるように、透明マスクやフェイスシールドを着用して教えてくださいました。覚えた手話を使って、実際に簡単な会話にも挑戦してみました。

手話で「拍手」を表すのは、左の写真のように、手をあげてキラキラ~と振ることで表します。みんなで手話の「拍手」をしました。

次回は11月に予定をしています。それまでに「教えてもらった手話を覚えてお話したい」と話す生徒がたくさんいました。